

令和元年度 八千代市応急医療救護対策会議・訓練部会 会議録

1. 日時 令和元年10月17日(木) 午後7時から午後7時50分まで
2. 場所 八千代市消防本部 3階講堂
3. 議事 (1) 1次救護所設置訓練について [資料1～3]
(2) 「災害時の応急医療救護活動における医薬品等の整備及び管理に関する覚書」に基づく医薬品等の備蓄事業の運用について [資料4]

4. 出席者氏名

- 加瀬 卓 (八千代市医師会会長 メディカルプラザ加瀬外科・加瀬眼科院長)
- 黒田 泰久 (災害医療コーディネーター, 八千代市医師会救急医療・災害医療担当理事)
- 松原 正樹 (島田台総合病院総務部主任)
- 三浦 美樹子 (島田台総合病院看護部長)
- 荒井 泰助 (新八千代病院院長)
- 高木 直人 (新八千代病院総務部長)
- 朝戸 晴美 (セントマーガレット病院事務長)
- 山内 剛 (セントマーガレット病院総務人事課主任)
- 佐久間 徹 (勝田台病院事務長)
- 小川 佳宏 (勝田台病院リハビリテーション科長)
- 岡崎 桂 (おかざき外科クリニック院長)
- 岡崎 茂一 (おかざき外科クリニック)
- 板垣 吉晃 (八千代医療センター業務管理課長)
- 貞廣 智仁 (八千代医療センター集中治療部長・救急科長)
- 青井 憲治 (健康福祉部長)
- 市原 将克 (議長 健康福祉部次長 (保健・医療))
- 原 武司 (健康福祉部健康福祉課長)
- 萩原 潤 (総務部危機管理課長)
- 山崎 栄一 (消防本部参事 (警防課長事務取扱))
- 事務局 高橋 均 (健康福祉課 地域医療班 副主幹)
- 齋藤 良祐 (健康福祉課 地域医療班 主任主事)
- 角田 千佳 (健康福祉課 地域医療班 主事)

[出席者数 合計22名]

5. 公開又は非公開の別 公開
6. 傍聴者／定員 0名／5名
7. 所管部課室名 健康福祉部健康福祉課
TEL 047-483-1151 (内線 3214)

8. 会議録

【事務局（健康福祉課 斎藤主任主事）】

それでは、定刻となりましたので令和元年度八千代市応急医療救護対策会議・訓練部会を開催させていただきます。はじめに、配布資料等の確認をお願いいたします。まず本日の会議次第、次に出席者名簿、次に席次表、次に本会議の設置要領、次に資料1 1次救護所設置訓練・実施要領作成指針、次に資料2 島田台総合病院 1次救護所設置訓練実施要領、次に資料3 島田台総合病院 1次救護所設置訓練 実施結果報告書、次に資料4 災害時の応急医療救護活動における医薬品等の整備及び管理に関する覚書。以上でございますが、不足等ございますでしょうか。

本日の会議ですが、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」に基づき公開会議とさせていただきますのでご了承をお願いいたします。

また、議事につきまして録音をさせていただきますので、併せてお願いいたします。

それでは、次第に添い進めてまいります。はじめに、八千代市健康福祉部長 青井よりご挨拶申し上げます。

【青井委員（健康福祉部長）】

健康福祉部長の青井でございます。皆様方におかれましては、お忙しいところ夜間の会議にも関わらず多数のご出席を賜りまして、誠に有難うございます。また、日頃より本市の保健医療行政、災害時の応急医療救護体制に格別のご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本日は応急医療救護対策会議において課題となっておりました、災害医療地区病院における1次救護所の体制づくり、特に、救護所設置訓練について協議するため、部会という形で、直接関係のある委員の方のみにお集まりいただいておりますのでよろしくをお願いいたします。

さて本年5月27日に島田台（総合）病院におきまして、本市としても初めての1次救護所設置訓練を、本日ご出席いただいております島田台総合病院の松原様、三浦様をはじめとする皆様方の多大なご尽力により実施することができました。この場をお借りいたしまして、改めて御礼申し上げます。

本日その訓練状況等について議題として取り上げさせていただきます。次回以

降の訓練をより効果的なものとしていただくために皆様方の積極的なご意見を頂戴できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、みなさまのところに配備させていただいております、いわゆる循環型備蓄医療品につきまして、事業開始から4年半以上が経過しているところでございますが、このことにつきましても、管理状況・使用期限切れによる廃棄・更新等の課題を含めて本日協議させていただければと思いますので、是非とも忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、千葉県では先月の台風15号によって甚大な被害を受け、本市でも暴風による住家被害が多数発生いたしました。また先日の台風19号においては、幸いにも本市は大きな被害はございませんでしたが、関東地方や東北地方を中心とした東日本各地に甚大な被害が出ております。近年こうした台風等の豪雨・暴風災害だけではなく、大地震の発生も危惧されている状況にあり、災害に対する備えがますます重要となってきております。市といたしましても、医師会の皆様をはじめ、医療機関の皆様方と連携して応急医療体制を早急に強化していく必要があるものと強く感じるところであり、今後とも本市の応急医療救護体制のより一層の強化のため、何卒ご協力のほどをお願い申し上げます。少し長くなりましたけれども、私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局（健康福祉課 斎藤主任主事）】

続きまして、八千代市医師会 加瀬会長よりご挨拶をいただきたいと思います。加瀬会長宜しくよろしくお願いいたします。

【加瀬委員（八千代市医師会）】

皆様こんばんは、夜遅くに大変お疲れ様でございます。6月から医師会長に就任いたしました。いつも1次救護所の立場で出席させていただきましたけれども今日は両方の立場で、医師会長の立場でも出席させていただきました。

救護体制の整備というのは非常に重要だと皆さん認識されていると思うんですけど、今日実は午後に県の医師会で地区医師会長と、それから県の役員との合同の会議というのがございまして、話題は台風15号19号で持ちきりでございました。何故なら15号で、皆様ご承知のとおり大変な被害を千葉県が被ってしましまして、その時の大変な状況とか、問題点とか、議論されました。災害対策基本法というのが元々あってそれに基づいての会議だと今日も思うんですけど、それができた理由というのがやはり伊勢湾

台風のこと、そこで台風による被害が基でこの法律ができたという経緯がございます。今日の県の方の会議で言っていたのは、そういう救護体制というのが地震にばかり考えが及んでいて、台風とか停電だとか、ああいうのに全く想定をしていなかった、不意打ちを食らったと、しかも2回続けてこういうことが起きたということで、我々も今日の本題とは離れるんですけども、地震だけではなく台風とか停電で、大変なことになりましたけれども、人の命に関わる状況になった時に、どうするかというそういう議論もです、今後必要ではないかという風に痛感をいたしました。

今後更に発展をさせてですね、より良い救護体制を作れればと思いますので、よろしくをお願いいたします。

【事務局（健康福祉課 斎藤主任主事）】

会長有難うございました。

それでは、議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、「八千代市応急医療救護対策会議設置要領」第6条 第3項に【対策会議の議長は、健康福祉部次長が担当する。】とありますことから、これを部会にも適用しまして、本市健康福祉部 市原次長にお願いしたいと思います。

それでは、市原次長、宜しくお願いいたします。

【市原議長（健康福祉部次長）】

本年4月より、健康福祉部の次長となりました市原でございます。不慣れではございますが、皆様のご協力を得ながら議事進行を務めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第に沿いまして進めさせていただきます。まず、議事の1点目「1次救護所設置訓練について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局（健康福祉課 斎藤主任主事）】

それでは、議事(1)「1次救護所設置訓練について」、事務局の方から説明をさせていただきます。

応急医療救護に関する訓練については、最終的な目標としては、医師会を始め歯科医師会・薬剤師会、医療センター、各災害医療地区病院、市といった関係機関が合同で訓練を行えるようにしていきたいと思っておりますけれども、前提として、実際の救護活動のベースとなります1次救護所の体制整備がまずは必要であるということで、皆様

方、各災害医療地区病院において救護所がスムーズに設置できるようにするため、まずは設置の部分に特化した訓練を順次実施していくということで、本部会の上位会議であります応急医療救護対策会議において決定されておりました。

最初の実施機関として、島田台総合病院とすることが決められておりましたので、昨年度より市と島田台総合病院とで協議を進めまして、お忙しい中入念に準備を進めていただいた結果、本年5月27日に実施することができました。島田台総合病院の皆様には改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

本日は、島田台さんの方での訓練について、どのように計画・立案して、どのような形の訓練を行ったのか、また、どのような結果となったのかについて、この場で皆様にご紹介して、内容を共有させていただければと思います。ぜひ皆様のところでご参考にさせていただければ幸いです。

まず、資料1をご覧ください。

こちらは「実施要領作成指針」ということで、その名のとおり、実際に訓練を実施するにあたって必要な事項を定めた「実施要領」を作成するための指針でございます。

各医療機関では、災害時に実際に救護所を設置した経験がまだなく、救護所設置に特化した訓練経験がないというところがほとんどです。また、各医療機関によって院内の規模やレイアウト、人員の体制等が全く異なりますので、まずは訓練実施、引いては救護所を設置する上で必要なことを明確にしまして、それぞれの医療機関で事前に協議を進めていただいて、各医療機関の独自の訓練実施要領を作成する必要があると考えまして、その際の指針とすべく作成させていただきました。

内容といたしましては、本指針を策定した背景から、計画・立案から実施までのスケジュールの例、具体的に何を事前に決めていく必要があるのかということが明確になるようまとめております。

こちらの方、5月の訓練を踏まえて若干の改良を加えてはおりますけれども、島田台総合病院の方でも基本的にはこの指針にあるような流れに基づきまして、病院のほうで協議を進めていただき、島田台総合病院としての訓練実施要領を作成し、それを基に実際に訓練を実施することができました。

本日はこの内容について細かい説明は省かせていただきますけれども、今後の訓練の際も、この指針を活かして各医療機関で訓練実施まで実現していければという風に考えておりますので、病院のほうにお持ち帰りいただきましたら皆様で情報共有していただいて、検討を進めていただければと思います。

実際こちらの指針に基づいて、島田台総合病院の訓練用として作成した実施要領が資

料2になります。資料2をご覧くださいければと思います。

内容を簡単にご紹介いたしますと、まず「1. 訓練の目的」、「2. 被害想定」から始まりますが、これは基本的にどこの病院でも同じような内容になるかと思えます。

3番の「実施日時・場所」あたりからそれぞれの医療機関で決めなければいけない事項が出てきて、2ページ目の「5. 参加メンバー・役割分担」については各病院の方で詳細に災害時の体制がしっかり決まっていなとなかなか作成できない内容になっているのかなという風に思えます。4ページ目では「6. 準備物品」についても、自分の病院の規模・レイアウト等を考慮し、どこをどのように使うのか、例えばどこを本部にして、ですとか、トリアージの緑黄赤黒のエリアをどこに設定するのかですとか、あとはより具体的な所だと待合の椅子を活用していくのかといったことについてある程度具体的に決まっていないと、どういう物品が必要となるかも決められないのではと思います。

5ページ目の方にある「7. 訓練内容・流れ」については、流れについてはこういった訓練を行いますので病院ごとにそれほど変わるものではないかと思えますが、内容については、例えば「院内被害状況の確認」ですとか「集約」といった部分は実際の職員の行動がしっかり定められていないといけない部分ですので、この辺りも事前の協議・取り決めといったものが重要になってくるかと思えます。

「8. タイムスケジュール」は流れをイメージしやすいように落とし込んだものになっており、「9. レイアウト図」に関しては各医療機関で独自のものを作成していただく必要があるかと思えます。

島田台総合病院の方では、今紹介したような実施要領を作成しまして、実際に7番の内容や8番タイムスケジュールに沿った形で実際実現することができました。

結果については資料3の「実施結果報告書」の方をご覧くださいければと思います。

「1. 実施日時」にありますように、先ほどのような実施要領に沿って実施した結果、トータルの時間については約1時間程度で終了という形になりました。参加者数については、今回はこのようになっておりますけれども、今後実施する病院の規模等によってこの辺りは上下変動があるのかなと思えます。

「3. 実施内容・担当所見」ですけれども、訓練全体としては、島田台総合病院で入念に準備していただいたということもあり、概ね実施要領のとおり実施されたものと感じておりますが、ただ想定していたタイムスケジュールよりかなり早く終了していたというものも印象としてございました。ですけれども、救護所を速やかに設置できるようにするという訓練の目的については概ね確認できていたのかなと思えますので、大変有

意義な訓練になったのではないかと感じております。

課題といたしましては、夜間・休日の発災を想定した場合どのように対応していくのかですとか、今回は救護所の本部において、模擬の情報を流して本部内でそれをどのように処理するかといったシミュレーションはあまりできなかったのですが、実際の災害時には大量の情報が本部に入って錯綜することが想定されますので、本部の体制や指揮命令系統、情報の流れや処理方法の整理といった部分が必要ではないかと感じました。

2ページでみなさんから講評を頂いたところで挙げられていた内容をまとめていますが、例えば、上から4番目や6番目にもあるように、救護所の訓練という「トリアージ」の部分がイメージされがちなのですが、実際には本部機能がしっかりしていることがかなり重要であるといった意見が複数挙げられておりました。これについては、訓練後に島田台総合病院に対してアンケートを行ったのですが、そこでも本部機能の強化といったところが重要課題であるといったところが挙げられていましたので、本訓練の趣旨としては、一応は「救護所を速やかに設置できるように」といったところが第一なのですが、同時に救護所の核となる「本部機能」の点でも強化していけるように、今後の訓練では無理のない範囲で少しシミュレーションを入れていければより有意義な訓練になるのではと感じております。

以上簡単ではございますけれども、議事(1)についての説明・ご紹介については以上となります。

【市原議長（健康福祉部次長）】

只今事務局の方から1次救護所設置訓練についての進め方、島田台総合病院における訓練の内容・実施結果等についてご説明がございましたが、実際に訓練を実施されました島田台総合病院より、感想や課題等についてお話を伺いたいと思います。島田台総合病院さんよろしく願いいたします。

【松原委員（島田台総合病院）】

島田台総合病院の松原といいます、よろしく願いいたします。

今年の5月21日に当院で1次救護所の設置訓練をやりました。当院も初めてだったので、いつもは年2回、夜中に災害が起きて、夜間の火災訓練だとか、患者さんの避難の訓練しかやっておりませんでしたので、今回1次救護所設置ということで、うちの職員もまず何をどうやったらいいのですかと。役割を決めた時に、その役割のマニュアル

ルですかね、どういう風なことでどういう風に動いたらいいのですか、というマニュアルを作ってほしいということで、あなたがトリアージの場所だったらトリアージはこういう風で、こうこうこうでという、そういうマニュアルを当院の方で役割毎に作ったというのがあります。ただ今回、日中の災害という想定でしたので、いつも夜間、もしこういう災害が起きた時にトリアージするというマニュアルを今、少しずつは作っているとところなんです。訓練も年2回やっている中で、毎年12月に消防さんの方に来てもらって、評価しながら災害訓練をやる時に、今回トリアージも含めた1次救護所の方もやっていきたいなと思ってはいるのですが、今回やはりマニュアルが、初めてだったということで、職員に細かくという訳にはいかなかったんですが、情報の伝達というところで、まだまだ本部と各部署との連携ができなかったところもあります。マニュアルなりなんなりで当院の中で検討したいなという課題は残っておりますが、こういう訓練を続けていくと、職員の方にもこういうやり方というか、もっとこうしたらいいんじゃないですかというのが出てくると思うので、何回も続けていけばスキルも上がっていくんじゃないかという風に考えております。

今後もしろんな病院さんでやられる時に見学して、こういう時こういう病院さんはこういう風なやり方をしているんだということが分かれば、こちらもまた活かしていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【三浦委員（島田台総合病院）】

島田台総合病院看護部長の三浦です。今回、マニュアルの話も出ましたけれども、各職員になかなかうまくいって伝達が、どのように動くかということがうまく説明できませんでしたので、一人一人の行動が分かるようなカードの方を作りまして、それを渡しました。それを基に、27日の一週間くらい前に、一度訓練というか、そういうことも行って挑みました。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ありがとうございました。訓練のマニュアルですとかそういったカードを作成ということで、新たな課題に取り組んでいただけてありがとうございます。

訓練につきましては今年度中にセントマーガレット病院さんでも行う予定になっておりますので、現段階の情報で構いませんので、実施時期の目安や、訓練実施に向けて準備していること、苦慮していることなど、どのようなことでも構いませんのでお話しただければと思います。セントマーガレット病院さん、よろしく願いいたします。

【山内委員（セントマーガレット病院）】

セントマーガレット病院，総務の山内と申します。よろしくお願ひいたします。今回，台風15号19号と，千葉県のみならず日本全国で大きな被害が発生しております，被害に実際あつた病院さんも多く，訓練の必要性を実感しております。

以前の会議で，順番に訓練を行う中で，前の病院での訓練の結果を次の病院での訓練に活かして，規模等検討していくという話があつたかと思ひます。次回当院の順番ということで，島田台総合病院様の訓練の実績を加味して，市とも相談させていただきなから進めていきたいと思ひておりますが，今回，今日ですね，指針も初めて頂戴いたしまして，当院としてもどのように検討を進めていけばよいかというのが，正直イメージがついていなくて，苦慮している状態となります。市としてどれくらいの規模でいつ頃を想定されているかというのを伺わせていただければと思ひてはおります。島田台総合病院様の事前検討に参加させていただければ，そういった進め方の検討もある程度はできたんじゃないかなと思ひておりますので，可能であれば，当院の訓練の事前打ち合わせの際には，島田台総合病院様と，次に訓練される勝田台病院様と，ご参加いただきまして，色々意見交換をさせていただければ，次の訓練に向けてブラッシュアップしていくことができるんじゃないかと思ひております。

島田台総合病院様の訓練の際には，60名近いスタッフが参加されているかと思うんですけれども，正直申しまして当院でその規模でできるかということ，厳しい状況となりますので，実際の訓練の際にもしご協力いただけるのであれば，各病院さんからもご参加いただいて，実際に訓練に参加していただいて体験した内容を意見交換していけばそういったのが訓練の度に良くなっていくんじゃないかなという風に思ひます。

【朝戸委員（セントマーガレット病院）】

事務長の朝戸でございます。よろしくお願ひいたします。ちょっと補足になるんですが，実施時期が本年度ということなんですけれども，どうしても冬場は患者数が割と多くなる時期でもございまして，冬場の実施ということになりますと，更に病棟の方が混んでおりますと投入できる人員が少なくなってしまうということですか，あとインフルエンザとかも流行ってくる時期になってくると，こういう訓練が業務に支障が出ていけないなと思ひますので，もし可能であれば春頃に，ということをお願いできればと思ひております。

それから，前回島田台総合病院様の方で見学させていただいた際に，貞廣先生でした

でしょうか、トリアージが中心になるような印象で訓練が行われるけれど、発災直後に被災された患者さんがすぐに来るとするのは考えにくくて、まず先に院内を固めるべきで、その後に外から来る患者さんへの対応がある、タイムラグがあるということを、時間差での対応がでてくるということがありますというお言葉があったと思いますので、当院で行う場合には、まず発災した直後、院内の体制、院内の状況の確認というところを経て、そしてトリアージの訓練にということやってみてはどうかという風に考えております。ということもありまして、当院だけだと進行なども不勉強なところもありますので、皆さんのお知恵を借りながら進めていきたいと思っております。以上です。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ありがとうございました。実施時期につきましては、今後事務局の方で調整を取って再度検討させていただきたいと思っております。また今後訓練の検討につきましては他の医療機関のご協力を得ながら進めていけるよう事務局の方で調整を図って参りたいと思っておりますので、是非よろしく願いいたします。

訓練につきましては来年度以降も順次実施していく予定となっておりますが、皆様から何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。

【貞廣委員（八千代医療センター）】

今の応援の話なんですけど、折角の訓練ですので実際に想定してやられるのが良いと思うのですが、実際に発災した時に他の医療機関から応援が来るとするのはちょっと、状況的に考えられないと思うんですね。特にセントマーガレットさんだとすると、おそらく、例えば八千代のリハビリテーション病院とかですね、ああいう所のスタッフに協力を要請して何人か応援に来てもらうとか。そこに患者が殺到するということは多分ないと思うので。

【朝戸委員（セントマーガレット病院）】

ちょっと言葉足らずで申し訳ございません。近隣の病院からの応援というのはですね、実際発災した後に病院側のスタッフとして来るということではなくて、訓練に例えば患者役とか、そういう形で参加して、参加した形で見ると、患者役になってみたけれどこの動きは違和感があるなとか、そういう実際に参加することによってこの訓練をもっとよくしていくための気付きの部分でご意見頂けるのかなと思って、そういう趣旨でございました。

【貞廣委員（八千代医療センター）】

ありがとうございました。ただ現実的にはですね、そういう応用を、例えばいろんな病院と、例えば八千リハさんみたいなところと協定を結んで何人か来てもらうみたいなので、多分現実的に凄く有効だなと思っていて。実はもう既にそういう話をうちの病院とはさせてもらってるんですね。立地的に非常に近いと思うので、直接歩いて来られると思うので、人手がない時間の発災なんかは考慮されてもいいのかもしれない。

【市原議長(健康福祉部次長)】

他に意見やご質問等ございますでしょうか。

(挙手なし)

皆様、貴重な意見ありがとうございました。本日の意見を参考といたしまして、今後も1次救護所設置訓練を進めて参りたいと思いますので、ご協力お願いいたします。なお、今後の実施予定順序としましては、前回の会議で決定したとおり地域防災計画の掲載順で、まずセントマーガレット病院さん、その次に勝田台病院、新八千代病院、その次の年に加瀬外科、おかざき外科の順で行いたいと思います。八千代医療センターにつきましては毎年訓練を行っておりますので、対象からは除外させていただきます。

まずは今年度中に、春になってしまうかもしれませんが、セントマーガレット病院にて実施する予定となっておりますので、近日中に事務局よりご連絡差し上げますので、実施に向けて打合せ等ご協力いただくようお願いいたします。また、当日は他の病院の方も見学に是非いらしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは続きまして、議事の2点目『「災害時の応急医療救護活動における医薬品等の整備及び管理に関する覚書」に基づく医薬品等の備蓄事業の運用について』、事務局から説明をお願いします。

【事務局(健康福祉課 斎藤主任主事)】

それでは、議事(2)『「災害時の応急医療救護活動における医薬品等の整備及び管理に関する覚書」に基づく医薬品等の備蓄事業の運用について』説明させていただきます。

いわゆる「医薬品等の循環型備蓄事業」についてでございますけれども、平成27年1月に、皆様方、災害医療地区病院、1次救護所に整備させていただき、約4年半が経過したところでございます。日頃よりこちらの医薬品等について管理・運用にご協力をいただきましてありがとうございます。

本事業については全国的にも珍しい「循環型備蓄」という形態を取っております。資料4の覚書第3条にありますように、事業開始当初、市の費用負担で整備した医薬品等については、病院での日常の診療においても使用期限に注意していただきながら使っていただきつつ、適宜補充する等更新をしていただくことで、当初整備した量、すなわち災害時に必要な数量が常に院内、救護所内に確保され、発災時にスムーズに使用できるといったシステムとなっております。

本事業における医薬品等については、毎年度各医療機関の方から使用状況報告をいただいております。その際に変更があった品目についてその都度リストを更新するような形でご報告もいただいているんですけども、中には普段の診療では全く使用しないような品目が配備されていたり、元々病院にある分とプラスアルファになってしまって在庫過多になってしまうと、そのタイミングで使用期限切れに伴い廃棄せざるを得なくなったケースがあるということでご連絡をいただいているところでございます。

当初配備した医薬品等の数量については、当時の本市における被害想定を基に、市内各地域における負傷者等の対応に必要な数量ということで各医療機関に算出していただきまして、普段使いしながら循環させるという前提のもと、医薬品卸業者とも連携しながら、各医療機関で循環できる医薬品等の品目で配備しているはずなんですけれども、中にはそうでないケースもあるようでございます。

在庫過多の件についても、当初整備量が災害時に必要な数量ということで配備させていただいているんですけども、結局使用しきれず廃棄せざるを得なくなるような形ですと、各医療機関の方に負担となってしまうといったところもございまして、これについては、循環型備蓄の医薬品等と、元々各医療機関で抱えている医薬品の在庫があると思うんですけども、両方を合わせて考えさせていただいて、あくまでも災害時に必要な数量が院内に確保されているといった状況になるように配慮いただきまして、その上で廃棄等の無駄が生じないような適正な数量に是正していただければと思います。更に覚書第5条にも、元々各医療機関にあった医薬品等を災害時に持ち出して使用した場合には市が費用負担する取り決めもございまして、あくまでも平常時の保管については廃棄の無駄が出ないようにご配慮いただきたいところでございます。

以上のように、本事業の趣旨とは実態が少しそぐわないような例が見受けられますので、今回は訓練部会という場ではございますけれども、ちょうど医薬品等が配備されている医療機関の皆様にお越しいただいておりますので、この機に、各医療機関における循環型備蓄医薬品の管理・運用状況について、市のほうでも現状を把握したいなというところがございますので、ぜひとも忌憚のないご意見等をお聞かせ願えればと思います。

議事(2)についての説明は以上となります。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ただいま事務局のほうから説明させていただきましたが、本事業につきましては、開始から約4年半が経過し、医薬品等の管理、使用期限切れによる廃棄・更新についての医療機関の現状やご意見をお伺いし、市のほうでも現状を把握できればと思っております。本日の議題とさせていただきます。

この議事につきましては、以前に加瀬会長の方からもご意見を頂いておりましたので、加瀬会長よりお話を伺いしてもよろしいでしょうか。

【加瀬委員（八千代市医師会）】

私の所の循環型の薬剤とか器材とか衛生材料とかを見てみますと、やはり全く使っていないのが結構ある訳ですね。あと、これだけで足りるのかといった不安感も実はあったりとか。内容とその量がこれで適正なのかどうかというのを、もう一度、その当時はいいのかなと思っていたのかもしれませんが、今見てみると、物凄く多くの患者さんが運ばれてきたりとか助けを求めてきたときにすぐに底を尽きるんじゃないかとか、そういう不安もあったりとか。色々こういう立場になりますと凄く感じるところがあるんですね。

ですから循環型というのはお金を一回使ったらそのままずっとかからないという、予算的には非常にいいシステムだと思うんですけども、柔軟性をもってまた市の方でもいくらか予算をつけられれば、もう少し増やすとか、内容を一気に変えて、同じような薬効だったら変えてもいいというような話がありますが、そうではなくて新たにするとか、皆さんいろいろと思っていることがあれば意見を出していただいて、多少作り直せるところは作り直した方がいいのかなと思った次第です。

あとは、今日他の地区の先生と話したんですけども、僕らのシステムというのは非常にお手本になっていて。市原の先生からも声をかけられて、八千代のシステム見習ったんだけどどうなっているのとかって、逆にいろいろと突っ込まれてしまうと、いやそこまではやっていませんとかそこまでは考えてませんでしたという返答をしたりとかっていうことがあるんですね。他の地区の新たな考えとかも入れながらよりよいものが作れたらなという風に思いました。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ありがとうございました。現在、加瀬会長の方から備蓄量の見直しが必要であるとか市の方で予算取りをしてほしい等の意見がありました。

それでは他の医療機関の方からもご意見をいただければと思います。些細なことでも構いませんので、本事業について何かご意見・ご質問等ありましたらお願いしたいと思います。

【板垣委員（八千代医療センター）】

八千代医療センター業務管理課の板垣と申します。

私どもの所は、多分他の病院さんもそうかもしれないんですけど、医薬品に関してはかなり循環型で回ってるんでかなり最新のものが入っている、常備されているという形になるんですけど、やはり医療材料がなかなか厳しいのかなと。どこの病院さんも多分管理が、事務関係がやってたりすることが多いと思いますので、ME・臨床工学技士がやればいいのかという部分もあるんですけど、災害時にどんな医療材料が必要かというのは全然見えませんので、そこを各病院さんで判断するというのはなかなか厳しいかなというところもありますし。

管理の部分でどうしても、この前も状況報告させていただいた時に、結局この商品は、次の商品・後発のものが出てませんかかそういうものが医療材料の中でありまして、あとは何でこんなものが常備されているのかというところもありましたんで、ここはどういうものを取り揃えたらいいのかというのを、市の方では決められないのかもしれないんですけど、各病院さんに任せるということであればそれは考えざるを得ないんですけども。そこは検討していかなければならないところかなと、私どもの病院は考えております。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ありがとうございました。備蓄医薬品につきましては、四年半前に決まったということで、薬の方は日々進歩してますので、新しい医薬品が出たりもう使われていない医薬品がこちらのリストに載っていたりする場合がありますので、今後見直しを図りたいと思いますが、先ほど板垣委員の方から言っていただいたように、市の職員ではその辺の判断が一切できない状況ですので、今後各医療機関の先生方にご協力を得ながら話を検討して参りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

他に意見とかございますでしょうか。おかざき外科さんいかがですか。

【岡崎 桂委員（おかざき外科クリニック）】

先ほど加瀬先生もおっしゃっていただきましたが、恐らくうちの方はどの医療機関よりも多く未使用な物品が出ている所だと思っております。

今後一番心配しているのは、衛生用品の方で、おそらく最初に発表された、各医師会のドクターが各医療機関に派遣される名簿が出されていると思うんですけども、その後多分医局、医師会のメンバーも変わりがまして、その後変更というのはされていきますでしょうか。ちょっと私確認していないんですけども、うちの方に災害時に来ていただけるドクター二人、名前が上がっております、その先生方にもしうちの方にいらしていただける時に、果たしてその先生方の分我々が用意しなくてはいけないのかとか、そういったことがちょっと今まで確認できておりませんでした。要はその先生方がいて使う衛生用品というものをうちの医療機関で揃えなくてはいけないの

か、というのが今まで確認ができておりませんでした。そういうものも今後ちょっと意識したい点でございます。

【加瀬委員（八千代市医師会）】

基本的には1次救護所に、色んな各会が割り当てられていて活動する訳ですから、衛生材料は全部その所で揃えて使うことになる訳ですね。私の所の衛生材料の内容見てみると手袋だとか、絶対やるのに必要だろうものも結構入っているんですけど、最近足りないような気がしたんですよ。本当にあつという間に無くなっちゃうんじゃないかなと思いますね。一応そういうのはその中に入れて。

先生の所どうですか、入っていたんじゃないですか。

【岡崎 桂委員（おかざき外科クリニック）】

私のサイズですね。男性の先生とかスタッフがいらっしゃた時にそれに対する各サイズを揃えなくてはいけないんじゃないかとか、色々考えて。あと、それも使わずに、多分今後も期限が切れれば破棄していくっていう。勿体ないですね。

【加瀬委員（八千代市医師会）】

そうですね。それは揃えた方がいいですねMとかLとか。僕も、中を見てみるとちゃんと色々なサイズが入ってましたので、多分それは、そこまで僕も頭が働かなかったんですが、他の先生、他の医療機関とかを参考として揃えたのかもしれないけど、備えとしては循環の中に入れるべきという話ですね。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ありがとうございました。今お話があったように管理の仕方だとか、特に廃棄が出てしまうといったような課題も多くありますし、加瀬会長の方からお話があったように手袋の話ですとか、そういったものの常備について課題があるものと認識しました。今後加瀬会長の方からの意見を頂きながら、こちら事務局の方から相談させていただきたいと思いますので是非よろしくお願いいたします。

特に他に意見等ございますでしょうか。

（挙手なし）

特に無いようでしたら、それでは議事の3点目で「その他」でございますが、本日の議事に関連することまたはそれ以外のことに何かがご意見ご質問等、なんでも構いませんので、ありましたらお願いいたします。

【貞廣委員（八千代医療センター）】

八千代医療センターの貞廣です。ちょっと知識がないというか、私この会議初めてな気がするんですが、あまりよく分かっていなくて質問させてもらうんですが。こういう風に1次救護所みんなが集まる会議っていうのは市としてはこの会議、本会議と部会の二つだけですか。例えば今の循環型の備蓄等に関して、これを議論する場っていうのは、逆を言うとこの会議とこれの本会議以外はないっていうことでよろしいですか。

【原委員（健康福祉部健康福祉課長）】

健康福祉課 原と申します。1次救護所の方々が集まる会議ではこの訓練部会と応急医療救護の会議のみでございます。それから循環型備蓄につきましても、基本的には応急医療救護の関係の維持管理機関ということですので、循環型備蓄について協議する場というのもこの応急医療救護会議でございます。

【貞廣先生（八千代医療センター）】

ありがとうございます。そしたらちょっと一つだけ言わせてもらいたいんですけど、逆を言うと始めて4年半この問題が一度も取り上げられてなかったっていうことですか。4年半放置されてたってことですか。

【加瀬委員（八千代市医師会）】

いや、時々前会長が期限切れのことだとかはちょろっと話題に出たことがありますけれど、根本的にどうにか変えようというところまでは議論進まなかったと思います。

【貞廣委員（八千代医療センター）】

もう一つ確認させてほしいのは、これを主導しなければいけないのは医師会ですか。椎原先生が意見を申してたってことは。

【加瀬委員（八千代市医師会）】

これは市の会議ですから市。そこに僕らが入って実際に実施するのが僕ら。

【貞廣先生（八千代医療センター）】

言いたいのは、循環型として、市は1次救護所にこのやり方を丸投げして、もう知らないよっていう姿勢なんですか、その間のフォローはないんですか。

【原委員（健康福祉部健康福祉課長）】

4年半、実際には1次救護所の方々に毎年その使用状況を市に報告いただきまして、その際に各1次救護所の病院さんからは、例えばこういうものが使えなくなったのでこういうものに変えたとか、そういう報告は市の方に随時頂いておりました。

ただ、決して放置ということではございませんで、4年半の間、そういった問題が山積してきたものでございますから。実際にそういったことが議論されたのは今回が初めてではございますけれども、今回こういった形で。実際この循環型備蓄は市の方が各医療機関さんの方に救護所の設置をお願いするにあたって、市が医師会の協力を得ながら、主導していく事業と考えておりますので、これを機に事業について、4年半という期間は経過してしまいましたけれども、よりよいものにしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

【貞廣委員（八千代医療センター）】

ありがとうございます。これで赤字になって、と言うか、期限が切れたら病院が被るというのがあまりによく分からない話になってくると思うので、どう見てもこれは市から補填されなければならないはずであって、赤が出てこれを病院が負担しなさい、維持し続けなさい、どうなっているかは我々もよく分からないというのはいくら何でもひどすぎる話のような気がするので、是非いい形に。

本当に循環させるのだったら、循環し続けられるような仕組みに毎年毎年変えていかなければいけないし、施設によって全く状況は変わると思うので、循環させられる物品は施設によって全く内容が違うので、それがきちんと毎年検討されていないということ自体が大きな驚きです。

【市原議長（健康福祉部次長）】

ありがとうございました。この件につきましては今後も検討する必要性が非常に高いと考えられますので、このような会議の中で、また議題として出させていただきたいと思っております。他に意見等ございますでしょうか。

【板垣委員（八千代医療センター）】

1次救護所の話に関連して、来週の10月24日、八千代医療センター総合防災訓練をやりますので、もしご興味あれば午後の3時からですのでお越しいただければ。我々も全て完璧な訳ではありませんので、色々見ていただければ何らかの参考になるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【市原議長（健康福祉部次長）】

24日15時から八千代医療センターの方で防災訓練行うそうですので、もしお時間がありましたら是非見学の方お願いいたします。

他に意見等ございますでしょうか。

それではこれで本日の議事は全て終了となります。本日は夜間の会議にも関わらずご出席いただきありがとうございました。

それでは訓練部会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。